

# 決算特別委員会

決算特別委員会(議長及び議会選出の監査委員を除く18人の議員で構成、委員長は多田誠一議員、副委員長は織笠孝之議員)は、決算等9件の議案について付託を受けて、4日間の審議を行いました。審議の結果、一般会計ほか8会計を全会一致で認定、その他1件を可決しました。

## 新たな転作物の可能性を求めて 遠野一新会及び議員有志合同視察研修



大きく育ったドジョウ

〔視察日程〕  
9月2日～3日  
〔視察研修先〕  
秋田県八郎潟町  
岩手県一戸町

〔参加議員〕  
織笠孝之  
安部重幸  
多田誠一  
菊池充  
菊池由紀夫  
多田勉

◆八郎潟町・「あきた田園どうじょう株式会社」について  
近年、収入が多い作物や、転作物が見当たらない時勢ではあるが、ハウスを利用しドジョウを養殖することは、高収入が期待されるのではないかと考え、今回研修を行った。ドジョウの養殖は高等技術を必要とし、養殖に挑戦するも失敗した事例が数限りなくある中、「あきた田園どうじょう株式会社」の取り組みは非常に興味をそそり、孵化から成魚の出荷までの一貫養殖が確立され、通年出荷を実現しており、高品質のドジョウを養殖している。

霜に弱く、収穫期に雨に当たると実割れするので、ハウス内での

◆一戸町・「小鳥谷さくらんぼ生産部会」について  
県北に位置する一戸町は、春の気候が厳しい地域であるが、そのような環境下でサクランボの生産を確立させ、夏恋(かれん)というブランド品のサクランボを高額で販売している。



ビニールハウスを利用したドジョウの養殖を視察

栽培を行っているとのこと。  
土作りは、微量元素の入った有機肥料等により、根張りを良くし、糖度の高いサクランボを作る努力をしている。その結果、1kg数万円のサクランボ販売につながっているのに驚いた。  
技術向上はまだまだ

途中で、矮化栽培で10a当たり12～13本、針金で枝を伸ばす棚づくりも始まっている。  
遠野市内の転作としても十分可能であると思われる。

### 担税力がある人の滞納状況と納税指導対策は

問 担税力がありながら滞納している人の割合について現状は、  
答 滞納している人の財産調査をするなど、所得や財産がありながら納税していない人もいるが、昨今の市民所得の向上と比例し、また、徹底した納税指導のもと、以前よりその割合は減る傾向にある。

### 職員研修計画の実態は

問 職員の研修は、研修計画に基づいて実施されているのか。  
答 第二次遠野市人材育成基本方針が職員能力開発の基本計画になっており、計画人数を見通して予算編成時期に定めている。  
問 職員に均衡ある研修機会を与えているか。  
答 総務課では若手職員への研修を、各課で専門研修に参加させるよう配慮している。

### 生活保護世帯の状況と自立支援のあり方は

問 生活保護世帯の中心で65歳未満の割合は。  
答 被保護世帯のうち、高齢者世帯は11.1世帯、43.3%で、それ以外が65歳未満の世帯である。うち母子、傷病、障がい者を除く失業等で就労が

### 衣類回収ボックスの成果は

問 あふれるほどの衣類回収がなされているようだが、ボックスの設置状況は。  
答 地区センターを中心に、11箇所22個設置している。  
問 回収状況と資源回収の今後は。  
答 現在まで、予想を上回る約43トン回収し、県内2番目の成



衣類回収ボックスが設置された

### 緑のふるさと協力の成果について

問 受け入れの成果は。  
答 この事業は11年目となり、遠野市に6名の方が定住している。毎年1名の受け入れで、宮守町を中心に郷土芸能の伝承は勿論のこと、地域と一体になり活動している。

### 松くい虫対策は万全か

問 松くい虫の被害木は年々拡大傾向にある中で、宅地内の被害木は個人で駆除してほしいとのことだが、

費用対効果の面から、積極的取り組みが必要では。  
答 協力隊への参加希望者が減少していることと、全国的に入入要望が多いことから、当面1名の受け入れで対応したい。

※担税力とは……税を負担する能力。